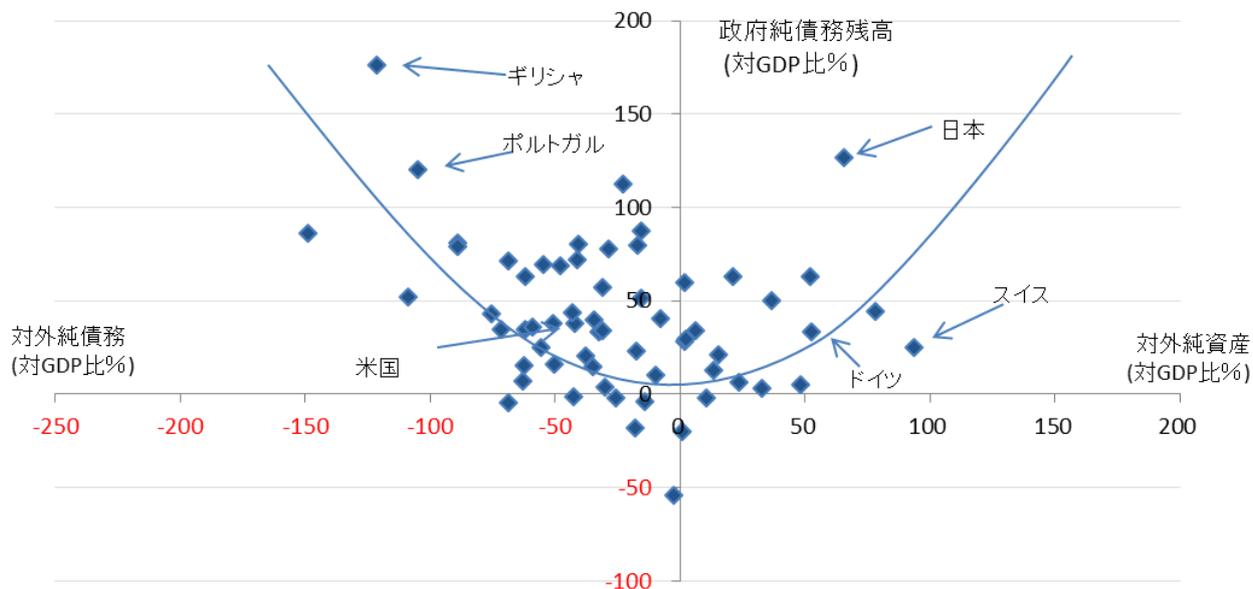


P57 誤字修正：政務残高→債務残高

P274 図表 8-2：円を追加



P213 図： U字線を下げる



P187 図表 5-4：右軸の(%)を削除、注を追加「中小企業貸出態度判断 DI が 30 台前半に達した 1980 年代後半のバブル期は失業率が 3%から 2%に低下するなかで、賃金上昇・内需拡大が強くなった。」

P221 図表 6-4：注を追加「名目 GDP 成長率と長期金利の差が大きくなると、リフレの力が強

くなり、株価も上昇しやすくなることも確認できる。」

P308 図表 8－6：注を追加：「過去の金融政策が景気・物価動向の安定のために最適であったと仮定している。その乖離は推計式の定数項で修正できる。」

P368 図表 10－3：注を追加「売上高経常利益率でも、製造業だけではなく、非製造業も含めて、過去最高の水準まで上昇していることが確認できる。」

P373 図表 10－4：注を追加「バブル崩壊以降にはなかった景気回復局面の投資拡大による生産性の上昇が確認されれば、日本経済の復活といえる。その必要条件を整えるのがアベノミクスである。」

P399 略歴修正：「執筆時点、ソシエテ・ジェネラル証券チーフエコノミスト」→「現在、ソシエテ・ジェネラル証券調査部長チーフエコノミスト」

「執筆時点、フリー」→「現在、ソレイユ・グローバル・アドバイザーズ インベストメント・ディレクター／ストラテジスト」